

夏
日
五
歌
僊

0-134

俳諧資料カード

| | |
|----------|----------------|
| 年代 | 後期 |
| 編者 筆者 | 芝山・玉露 南冥・閑齋 |
| 書名 | 夏日五歌仙 |
| 備考 | |

(下垣内蔵)

咲とハかりしとぬ芥子の花 芝峰

友乃澁るの言は 曙 玉露

進く又旅人乃は 同

花の葉に 同 芝峰

月此縁中のり 同 同

一帯 同 玉露

風ゆけハ 同 同

尾を 同 芝峰

猶 三々々 伽羅の白いれ物面を小 同

行を~~~~これ舟なり~~~~ふと 玉露

電~~~~も 清く 又は~~~~ 同

注連を~~~~ちりちり標の切株 芝峰

下加茂~~~~も~~~~能く~~~~ 同

一層~~~~山~~~~女 玉露

~~~~~~~~月~~~~ 同

~~~~~~~~ 芝峰

洗物~~~~花~~~~ 同

海生の流~~~~日和~~~~ 玉露

土と~~~~山~~~~ 同

浪~~~~海~~~~ 芝峰

~~~~~~~~世~~~~ 同

本~~~~~~~~ 玉露

干~~~~~~~~ 同

~~~~~~~~ 芝峰

朝の月出船を~~~~ 同

霜~~~~~~~~ 玉露

~~~~~~~~ 同

異國のおとありい定る 芝峰

翠巖の香子時く流徑く同

深葉の香子時く想子出は 玉露

去庫山の香子時く思き鼠 同

六冬一ハ白乃多い六月 芝峰

やうとてハ煙の葉の柏子抜 同

此の久三乃何子つけてし 玉露

世の赤とハ赤と一忘ましく花の陰 同

雪乃往来ものしりる空 芝峰

此頃の花る列り一競馬 芝峰

日子輝き無一人飛 玉露

亦格子節おりりる船をて 芝峰

北吹風ハ北の南の 玉露

月の雲来乃お場のねひ出 芝峰

ク用刀家達のをくくとちる 玉露

息方分箱を知をり屋状 芝峰

千魚乃一脊戸の射下 玉露

十抱の樹子鏡印を窓をく 芝峰

君の心は海の小舟に雲は

玉露

幾夜さの差を船も車も

芝峰

寺乃奇進ハ門徒宗之

玉露

水晶の粒珠子縮糸透き通り

芝峰

髪を紅ひ酒をこころん

玉露

こつこつと嵐ハ風くちまふ

芝峰

志帆も片帆も續く海面

玉露

花子留月も留一菴建く

芝峰

兼好と世子作くま

同

陽をの身ハもるる暮昏

玉露

何と交もりくは曇る露見

芝峰

祈りも神も情を念はハ

玉露

杉子一帯も初も

芝峰

りふも又浮くく白半月も

玉露

産当おまのねまお

芝峰

いらくの物を飯つく

玉露

隈をく光る玉乃危

芝峰

山深く燈照く喜れ

玉露

松の之流を捨く人

芝峰

念をうり子とわらぬよし 古社 玉露

狐おろし 出る宵 四言 芝峰

道なきぬ旅のちとれ小持竹 玉露

侍の身子 4言とて真名子、 芝峰

さしとて女下下の結さるを 玉露

日初とてわらまを此ぬすの 芝峰

うちあがる細り浦まの波のそ 玉露

碓子とて味の杜活よ防風 芝峰

蛭牛れりふとるなり 珍瓶繩 玉露

舟の菴此五月の日の 芝峰

二人もとて酒を酔ゆ 玉露

画りたるととぬ山乃奇を藤さ 芝峰

川雲れをりき月のおりり 玉露

玉蜀黍子とてくく風 芝峰

暮を帆子ゆけて小多や後きん 玉露

汐汲葉ふたふと 芝峰

人をぬるひを神子色 玉露

草の命を草盡たとも 芝峰

猿の陣より根の言は清く寺 玉露

世替を前キり 佐藤何某 芝峰

川より野をさるる 振るみく 玉露

十日 亥中の月 出るこ 芝峰

秋文の神の祠に淋し 玉露

この掛中の人 稽のらる 芝峰

妻とて 斤山陰のふも 玉露

水もぬるる 流る川の流れ 芝峰

疾擧り 串の小船をり 同

舟のこゝろ 通る 捨持 玉露

夕ねの又 風とぬり 芝峰

繫捨る 船 五六艘 玉露

すゝ 遊ぬらこ 一人よ 芝峰

いさ 日と 玉露

風茶の露 芝峰

長 玉露

頼政の 芝峰

葉茶店 玉露

氏 芝峰

乃 芝峰

鶴の原高杉松の大本 玉露

芳波乃喜花中見 芝峰

思いつとく 玉露

枝折子子 芝峰

孤々々 同

啼立る 玉露

おほん 同

翰齋

三つとく 閑齋

一卵乃花垣 南溟

清き石小河の流 玉露

酒の瓢れ 閑齋

有明子 南溟

校も多し 玉露

大子子 閑齋

あし 南溟

蒼蒼切子 玉露

二條新地 閑齋

初濃新 南溟



其を圍むる手難に此の難を 南溟

い皆し府乃川流する 閑齋

かの佐々神の所園のそくて 玉露

雑乃之岳尾千旭こゑを 南溟

井田の控を花千かりやす 閑齋

つつしめとけき人乃交り 玉露

一曲り狂比狂子ゆきうまの月 南溟

弁りくあり長軒の涼風 玉露

あふ時馬乃奥歯のつる透て 閑齋

忘りくうき子碎ハ確り 南溟

うち揮ふ主筆のあははりこゑ 玉露

鶯乃之そしり 閑齋

ほろくとそあはま果々枯蝶 南溟

そなの物たりれさう悔し 玉露

前髪を引きて刺さぬ仇ころ 閑齋

格別なれさけり鏡塔 南溟

一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...



5

5

